

グッドのグッドニュース

ご来場ありがとうございました

春の弥生を迎えた今日この頃ですが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。お元気でいらっしゃいますか？いつまでも寒い寒いと思っていたのですが、もう春3月を迎えました。季節はどんどん進んできていますね。そして3月は学生諸君にとっては卒業の季節であり、また社会では年度末でもあります。それぞれに一喜一憂したり、また色々な思いを巡らせながらの月となります。まだまだコロナ禍の中であり、なかなか自由な行動も取れないところなのですが、ワクチン接種も始まり、確実に前進しておりますので、三密を避けながら、春を楽しく元気に過ごしていきましょう。

さて、先月当社で行った**完成住宅見学会**ですが、寒い中皆さんにご来場いただきまして、誠にありがとうございました。また、各時間に一組のご案内という事もあり、時間が合わずお断りしなければならなかった方もおられました事、この場にてお詫び申し上げます。

今回の見学会ではデザインや機能性、また快適さを見て感じていただきたく開催いたしました。まず当社事務所2階ホールにて、カットサンプルを使用して断熱サッシや簡単な構造説明の後、それを踏まえて実際に見ていただきました。この建物は三角地に立つ特徴のある建物なので外観から説明させていただきました。当社の特徴である、センス良く**木を多用した**作りの他、建物と一体にしたカーポート、そして車を降りた後も**雨に濡れる事無く玄関に行けるアプローチ**は皆さん気にしてくれたようでした。また女性の方に人気だったのは、やはりシステムキッチンで、特にガスとIHヒーターが一体となっている**ハイブリットコンロ**、そしてファンを外す事無く換気扇の油汚れを掃除できる**洗エールレンジフード**、これは奥様だけでなく旦那様にもとても好評でした。本当に汚れる事無く掃除ができる手間いらずの優れものです。(裏面に詳しく載せてあります)やはりシステムキッチンは奥様にとっては大切な場所でもありますので、使いやすさ、収納の多さ、そして掃除のしやすさは大事な部分です。また、キッチン後ろにある食品庫も玄関から入ってすぐの所にありますので、買い物をした荷物を持ってスッと入れるので便利だ！という奥様の声も沢山いただきました。

収納に関しては部屋の続きに大きめのウォークインクローゼットが付いているのですが、荷物や洋服、バッグ、引き出物なども沢山収納できるということで、女性の方にはとても好評でした。やはり**片づける、仕舞う、見せない**というのは一番気になるところで、表に出ないことで、部屋が散らからずスッキリとしておけます。

広い・三角なウッドデッキや照明付きの手すり、天井の板張りやモノトーンに仕上げたトイレ、敷地なりに作った部屋など、見所は多かったと思いますが、皆さん一応に感じてもらったのは、やはり「**家の中の暖かさ、快適さ**」でした。玄関から暖かく、1階2階、どこへ行ってもほぼ均一な温度であり、体全体にじわ〜とくる感覚はとても居心地のいいものです。実際に体感するまではわからなかったようですが、皆さんこれにはとても驚いており、感動しておられました。断熱性能がとても良いのです。

今回、多数来場していただき少し残念だったのは、「**オヤジライダーに会えて嬉しい〜**」という声が、沢山出るのではないかな！サインでもしようかな！などと、オヤジ密かに期待をしていたのですが、やはり現実にはそう甘くは無いな〜！などと、まあいつもの**冗談**はさておき、オヤジに暖かい声をかけて下さった皆様にとっても感謝しております。今後も頑張っていきますので、オヤジライダー、GWニュース、当社をよろしくお願い致します。

健康で快適な ZEH (ゼッチ) の家づくり

健康と断熱性能は、関係が深いってご存じですか？

ZEHの家づくりにおいて、家全体の断熱性を高めることは、暮らしの健康面でも重要であるといわれています。しかし、実際のところ人の健康と家の断熱性能の関係がどれ程のものか、ご存じの方は少ないのではないのでしょうか？そこで、まずは健康リスクと家の中の温度差という視点から、その関係性を紐解いてみたいと思います。

冬場、暖房が効いたリビングは暖かいのに、**トイレや浴室は寒い**というのは、戸建て住宅では当たり前のようには思われていますが、これは**危険な健康リスク**です。近年では**ヒートショック**として注目されています。しかし、家全体の断熱性を高めることで、部屋間の温度差は少なくなり、そんな健康リスクを解消することができます。

ヒートショックは温度差による**血圧変動**により起こります。家が暖かい場合は、血圧変動が少ないですが、居間は暖かくても脱衣所や浴室の温度が低く、温度差が大きい場合は血圧上下変動が大きく、ヒートショックが起こり、**心筋梗塞や脳出血、脳梗塞**などを引き起こす危険があります。

